

| | | | | | | | | | |
|--|---------------------|--------------------|--------|----------------|-----------------|------|------------|------|-----|
| 科目ナンバリング | | U-LAS04 10010 LJ45 | | | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | 社会学Ⅰ Sociology I | | | 担当者所属 職名・氏名 | 地球環境学舎 准教授 朴 沙羅 | | | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | | 分野(分類) | 教育・心理・社会(基礎) | | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義(対面授業科目) | | |
| 開講年度・ 開講期 | 2026・前期 | | 曜時限 | 月3/水1 | | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | | | |
| <p>この授業では社会学の入門的な講義を行います。高校には「社会学」という科目はなかったでしょうから、「社会学」とは一体何なのか、想像のつかない方もいらっしゃることでしょう(私もそうでした)。「社会」って何だろう、何でも「社会」って言えそうじゃないか、と思ったあなたは間違っていない。社会学は多くの物事を対象にし、それらはどれも、ある意味において「社会」と呼ぶのが適切です。しかし、「なんでもあり」になりそうな社会学において、何を取り上げて「社会」の学になる(=社会学にする)ためには、何に目をつけ、どのように分析すればいいか、他の学問より社会学の方が得意なもの何かを、この講義で学んでほしいと思います。講義では、自己から社会運動まで、社会学が研究対象とするものの一部を取り上げます。そして、社会学者たちがこれらの現象について、自らの置かれた時代と環境の中で、何を論じてきたのかを解説します。社会学は近代の学問です。この授業を通して、私たちが今も生きている近代とはどのような時代なのか、さまざまな規模の集団や知識・規範とその変化を通じて、一緒に考えていきましょう。</p> | | | | | | | | | |
| [到達目標] | | | | | | | | | |
| <p>以下の点について、社会学を知らず特に興味も持たない大人(例:親戚、就職活動で「大学時代に学んだこと」について質問する人)に説明できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学の対象とする「社会」とは何を指すか ・社会的思考とは具体的に何に着目してどのように思考することが ・時代・地域に即した社会問題に対して、これまで社会学者たちは何を明らかにしてきたか | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | |
| <p>基本的に、以下の計画に従って講義を進める。ただし、受講者の状況などに応じて、順番や内容を変更する可能性がある。基本的には、前半は外国人をめぐる話題について研究者の知見を紹介し、後半は外国人をめぐる話題それ自体を分析の対象とする。</p> | | | | | | | | | |
| <p>第1回 オリエンテーション 第2回 社会って何? 第3回 私は誰? 第4回 家族ってどんな集団? 第5回 働くって何をする事? 第6回 性って何? 第7回 福祉や教育はどうやって決まる? 第8回 文化って何? 第9回 「エスニック」って何? 第10回 格差は無くならない? 第11回 差別って何をする事? 第12回 デモって怖い? 第13回 授業の振り返り 第14回 最終レポート 第15回 フィードバック(詳細は授業中に説明)</p> | | | | | | | | | |
| ----- 社会学Ⅰ(2)へ続く ----- | | | | | | | | | |

社会学Ⅰ(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

初回レポート(5%)：シラバスを読んで、興味のある話題とない話題を1つずつ選んでください。またこの授業で学びたいことを3つ以上の文で述べてください。

授業課題(5%×11回)：毎回、その日の授業の内容で「理解できたこと」と「重要だと思ったこと、およびその理由」「追加で説明してほしいこと」の3点について書いてください。

最終レポート(40%)：この授業の話題・特徴・内容・わかったこと・もっと知りたいこと・授業を受ける際の工夫について、授業の内容を反映した紹介文を書いてください。授業時間内に手書きで提出してもらいます。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

【授業外学修(予習・復習)等】

毎回、授業の最後に次の授業の話題を指示します。それに基づいて関連する情報も提供しますので、そちらを見るか読むかしてきてください。復習は授業の中で時間を取って行いますが、おそらく身近に関連するニュースや言説があふれていると思いますので、それらを見てご自身で分析してみてください。真面目に行った場合、予習・復習にそれぞれ60分くらいかかるでしょう。

【その他(オフィスアワー等)】

連絡はメールをお願いします。

【主要授業科目(学部・学科名)】